

安全データシート

作成 2021年7月30日

1. 製品及び会社情報

製品名	: アレルゲンアイ クイック ごま
製品番号	: 20回用 027949 (検査キット20枚)
発売元	: 5回用 053240 (検査キット5枚、ふき取り用綿棒5本)
製造販売元（連絡先）	: プリマハム株式会社 基礎研究所
住所	: 株式会社つくば食品評価センター 検査試薬事業部
電話番号	: 茨城県土浦市中向原635
メールアドレス	: 029-841-8950
	: Allergeneye@primaham.co.jp

2. 危険有害性の要約

重要な危険有害性及び影響	: 通常の取扱いでは、危険性は低い。
GHS分類	: 分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物区別	: 混合物
化学名または一般名	: trade secret
成分及び含有量	: 非開示
化学特性(化学式)	: 非開示
官報公示整理番号	: 非開示
CAS番号	: 非開示
危険有害成分	: 特になし

4. 応急措置

吸入した場合	: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
目に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	: 異常があれば、医師の診断、手当を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 口をすすぐこと。気分が悪い場合は、医師に連絡すること。
	: データなし

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	: 特になし
特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	: 適切な呼吸保護具、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用する。
環境に対する注意事項	: 環境中に放出してはならない。
二次災害の防止策	: すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙や火炎の禁止)。
回収	: 漏洩した液は、紙、布などでふき取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

局所排気・全体換気 :『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項 :取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
飲み込まないこと。皮膚と接触しないこと。眼に入れないこと。

接触回避

:データなし

保管上の注意事項

技術的対策 :特になし
混触危険物質 :データなし
保管条件 :日光から遮断し、1~30°Cの範囲で換気の良い場所で保管すること。
可燃性物質から離しておくこと。熱、火花、裸火、高温のものよう着火源から離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

日本産業衛生学会 :設定されていない

ACGIH :データなし

設備対策 :特になし

保護具

手の保護具 :適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具 :適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 :適切な保護衣を着用すること。

衛生対策 :取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

	検査キット	ふき取り用綿棒
形状	固体	液体
pH	データなし	中性
臭い	無臭	無臭
融点	データなし	約0°C
沸点（初留点）	データなし	約100°C
引火点	データなし	不燃性である
自然発火温度	データなし	データなし
爆発範囲（上限・下限）	データなし	データなし
密度	データなし	約1.0g/cm³ (20°C)

10. 安定性及び反応性

反応性 :データなし

避けるべき条件 :日光、熱、燃焼

混触危険物質 :データなし

危険有害な分解生成物 :一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データなし
呼吸器感作性または皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	: データなし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	: データなし
吸引性呼吸器	: データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: データなし
水生環境慢性有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	: 関連法規並びに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	
陸上規制情報	: 非該当
海上規制情報	: 非該当
航空規制情報	: 非該当
国内規制	
陸上規制情報	: 非該当
海上規制情報	: 非該当
航空規制情報	: 非該当
特別安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
船舶安全法（危規則）	: 非該当
航空法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当
化学物質管理促進法（PRTR 法）	: 非該当

16. その他の情報

参考文献 引用 原料試薬供給先から提供された SDS 等

*この安全データシートは一般的な試薬の取扱いを主に記載しておりますが、危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。記載内容は通常の取り扱いを前提にしたもので、本データシートは安全な取扱いのための情報を提供するものであって、いかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。